

【栗田病院 広報誌】

広報

こだま

2025

Vol.52



令和7年度 新入職員紹介

フォーカスくりた人

訪問看護ステーションこころ
看護師 小菌井 由貴

トピック みんなで創ろう!みんなの未来会

今号の「フォーカスくりた人」小菌井由貴さんの所属している訪問看護ステーションこころのスタッフ集合写真

栗田病院グループ・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員といったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続けることです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>



こだま
バックナンバーは
こちらから

令和7年度新入職員紹介

4月1日に新たな職員を迎え入社式が執り行われました。今年度は医師2名を含む7名の新しい職員を迎えました。理事長より栗田病院グループのビジョンや激励の言葉が贈られ、新入職員一人ひとりに辞令が手渡されました。新入職員代表挨拶では精神保健福祉士の本間莉穂さんから、今後の仕事への想いや社会人としての意気込みが語られました。これからも地域に根ざした質の高い医療を提供するという使命のもと、新しく迎えた仲間とともに、あらゆる方々の笑顔を増やし続けられるよう努めていきたいと思っています。

今回は新入職員の皆さんにコメントをいただきました。

新入職員からのコメント

「テーマ」
1 あなたが感じた栗田病院グループの魅力
2 今年度の抱負

○医局配属

医師 山口 拓土

今年度の4月より入職した山口と申します。自分が有朋会について抱いている印象としては、茨城県内の精神科医療に携わるグループの中で、

屈指のサービスの多彩さ、質の高さが挙げられると思います。それによって患者様やそのご家族の生活に寄り添いながら、包括的にサポートできることは魅力と感じました。そのグループの一員として、自身も皆さまのお役に立てるように頑張りたいと思います。

今年度の目標としては、昨今患者様の困りことも多様化している中で、そういったことに幅広く対応していくため、診療能力、知識を深められるよう精進しようと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



○医局配属

医師 佐久間 大樹

研修医の精神科の研修でお世話になった際に、病院の雰囲気がとても良かったことから再度お世話になることにしました。廊下ですれ違った際などでも挨拶が交わされていたり、各部署への相談



がしやすいと感じたことが魅力的だと感じました。また、職員総会で「患者さんを大切にするには職員も大切にする」というお話を聞き感銘を受けました。

現在は初診の予診を取らせていただくことが中心ですが、精神科の診察や情報の聞き出し方などを学びながら、今後実際に診察する際に生かせるようにしたいと考えています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

○サクラ病棟配属

看護師 大江 優太

私は多職種間のコミュニケーションの活発さに魅力を感じました。初めての病棟見学でサクラ病棟を拝見させていただいた際に、ステーションにPSWさんが居ることにまず驚きました。以前の病院ではPSWさんとはフロアが別のためやり取りに時間が必要でした。同じ空間にすることで様々なことを共有して患者様の退院、その後の生活に対して話し合いができることはとても良い環境、チームワークだなと感銘を受けました。

今年度の目標として、今まで培った精神科の知識を活かしながらも更に成長していけるように学び続ける姿勢を強く持ち、資格習得などで自己研鑽をしていきます。精神科領域でたくさん学びたいことがあるので一つずつステップアップしていけるように頑張りたいと思います。そして得た知識を患者様に還元していきたい、患者様が退院等で新たな生活をスタートするための準備の期間を共に

より良いものにしていけるよう努力していきたいです。



○ サクラ病棟配属

看護助手 上野 智香

精神疾患、認知症を患っている方への向き合い方、ケアの行い方に関して、Drを始め、NS、OT、介護士、ナースエイドそれぞれの職種が連携して緻密なケアをチーム一丸となつて行っている所に魅力を感じました。また、それに伴って多数の勉強会の実施が行われている事に興味、関心を持ちました。新人教育も全てのスタッフさんが親切、丁寧の一つ一つゆっくり分かりやすく指導して下さいる所もとても素晴らしいと思います。



精神疾患、認知症専門の病棟で勤務するのは初めてで色々壁にぶつかると感じます。ナースエイドとして精神疾患及び認知症への向き合い方、ケアの行い方を学ぶと共に病棟の流れを把握しチームの一員となれるよう研鑽と努力を重ねて行きたいと考えます。

○ 地域医療連携課配属

精神保健福祉士 本間 莉穂

私が感じた有朋会の魅力は、職員の皆さんがコミュニケーションや周りの方への気遣いを大切に行動している点です。入社したばかりの頃は



とても緊張していましたが、連携課の皆さんをはじめ、職員の皆さんが温かく迎えて下さり、声を掛けて気遣っていただいたことで緊張がほぐれました。病院内で何か困った事があると、職種を問わず周りの職員の皆さんがそれに気づいて声を掛けて下さり、その視野の広さに驚く日々です。私も栗田病院での仕事に慣れ、周りを気遣い、コミュニケーションを大切にする人になれるよう、精進したいと思います。

今年度の抱負としては、社会人一年目として業務に

慣れるのと同時に、社会人としてのマナーや態度も身に付けていきたいと思っています。また、先輩方の仕事の様子から積極的に学びを深め、精神保健福祉士としての専門性の向上にも努めていきたいと思っています。

○ 清掃課配属

清掃スタッフ 高橋 美智子

私が感じた有朋会の魅力は求人票に記載されていた病院紹介に、『あらゆる方々の「ころ」に温かな（ホットな）灯りをとますこと、笑顔を増やし続けること、ひととひととのつながりや絆を大切にしていること。』とあった事です。



「ころ」や「ひととひと」が漢字ではなくひらがなであつたことに私は「やさしさ」や「寄り添い」を感じ清掃職に応募しました。

清掃職は初めてで業務には目配り気配り思いやりが欠かせません。まだ仕事を覚えるのに精一杯で目配りもままならず、広い院内で迷子になることもあります。先輩スタッフの皆様が「大丈夫一緒にいるから。」と声をかけてくださり「ころにホット」を実感しています。

初年度の目標は「笑顔あいさつ丁寧」です。挨拶を交わすことで「ひととひとのつながり」ができ「笑顔の輪」が広がると感じます。今年は笑顔で丁寧なあいさつを心がけながら清掃業務に努めていきたいと思っています。

○ クリニック配属

公認心理士 鈴木 めぐみ

有朋会の理念に掲げられている、医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを提供するという部分に共感し魅力に感じました。患者様や利用者様の生活を支えるためには、一部分だけの支援



ではなく包括的なサポートを提供することが求められていると常に考えており、そのようなチームの一員として働きたいという思いから、有朋会への入職を決めました。

初年度の目標として、今まで学んできたことに加えさらに自己研鑽を積み専門性を向上させることを設定しました。業務を行う中でリワークや心理検査などについての学びを深めるだけでなく、自分自身でも積極的に学びを深めていきたいと思っています。一日でも早く業務に慣れて多くの方を笑顔にできるように努力してまいりたいと思います。未熟な部分も多いとは思いますが、ご指導を受けながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



フォーカス くりた人

訪問看護ステーション

看護師 小蘭井 由貴



配属部署と私の仕事

私は訪問看護ステーションで看護師として勤務し、今年で5年目を迎えました。地域で生活されている利用者様のご自宅や施設にお伺いし、様々なサービスと連携しながら生活のサポートをさせて頂くことが大きな役割です。精神・身体 の健康状態のモニタリング、服薬管理、家事支援、家族ケア等、多岐にわたる業務に日々取り組んでいます。

利用者様に寄り添う

前職での病棟勤務の経験を経て、現在は訪問看護の現場で働いています。訪問看護の特徴は利用者様の生活の場に伺いプライベートな空間に私たちがお邪魔させていただくという点です。限られた訪問時間の中で、利用者様とご家族様とじっくり向き合うことを大切にしています。

訪問を始めたばかりの頃は、利用者様が緊張される場面も多く、慣れない相手と対面してお話しする事に負担を感じてしまう利用者様も少なくありません。

訪問看護ステーションでは、職員がそれぞれ担当を持つようにし、まずは顔と名前を覚えてもらうことから関係づくりを始め、少しずつその方の背景を知り、距離を縮めていくような心がけています。訪問を重ねる中で何かをきっかけに話題が広がる事もあり、利用者様の新たな一面を知る事も多いです。支援を通して関わりを深めながら、相手を知り意思を尊重し、利用者様一人ひとりの生活に寄り添い、地域で少しでも安心した生活が送れるよう支援しています。

小さな「できた」が教えてくれること

精神科訪問看護に携わる中でのやりがいはたくさんありますが、特に嬉しさを感じるのは、利用者様の小さな「で

きた」に触れることです。

「今日は外に出られた」「笑顔が見られた」「薬を忘れずに飲めた」といった小さな変化がみられた時、利用者様の生活力の回復を感じ、自分のことのように嬉しく思います。

初めは会話もままならなかった利用者様が少しずつ心を開いて下さり、訪問の際に「待つていたよ」「訪問で話せてよかった」とあたたかい言葉をいただく、信頼関係の構築を実感し、支援の積み重ねの成果に喜びとやりがいを感じます。

人と人との関わりなので、自分の思いがうまく伝わらないことや考えが甘かったなと感じる事もあります。こういった状況に度々直面し落ち込むこともあります。が、利用者様と向き合い続け、関係を修復できた時には、その時間と信頼の積み重ねを実感します。

訪問看護を通じて長期的に関わる方も多く、利用者様の变化や回復を生活の場で感じる事ができ、医療の枠を超えてその方の人生に関われていることが日々の支えとなっています。病気だけでなく「人」としての関わりが重要視されるため、利用者様の生活環境の中で支援し、ニーズに合った看護を実践できることが精神科訪問看護の魅力だと思います。



他職種との連携で支える地域の暮らし

精神疾患を抱えながら地域で暮らす方々に看護を提供するには、看護師だけでは成し得ません。主治医やケアマネジャー、精神保健福祉士(MHSW)、市町村や就労先など、さまざまな視点から支えていく必要があります。

こうした他職種や関係機関との日々の連携を通して看護を提供し、地域全体で多角的な視点から支援していくことで利用者様とご家族様の安定した生活を支える大きな力になります。

看護師を目指したきっかけと、精神科との出会い

幼少期の体験からもとは小児科の分野に関心を持つようになり、子どもたちに寄り添う看護師になることを夢見ていました。

一方で、看護学生時代に臨床でたくさんの方と関わらせて

いただく中、精神科実習で不安や孤独を抱える一人の患者様と出会い、「心のケア」の重要性を強く感じていました。卒業後は小児専門の病院に勤め、結婚・出産・育児等のライフスタイルの変化も経て転職を考えた際、精神科看護への思いが再び心に浮かび、今の分野で働くことを選びました。

「心のケア」を必要とする方に深く寄り添うというその時の気持ちを大切にしながら、現在も看護を続けています。

これからの目標と自分自身の挑戦

日々の業務の中で、自身の課題の多さを実感しています。失敗を避けたい気持ちや、分らないことに対する不安から消極的になることもあります。が、それを乗り越え、利用者様と真摯に向き合っていく経験を通じて、積み重ねる挑戦する気持ちを続けたいと思っています。

近年では、高齢の方や、独居の方、発達障害を持つ方など、より多様なケースが増えていると感じています。対象となる方の幅広さに柔軟に対応できる知識が必要であり、限られた訪問時間の中でいかに安心感を与え必要な介入ができるか、そのための信頼関係構築を目指し、利用者様の言動の微細な変化だけでなく、生活環境や家族の変化も見逃さない観察力とアセスメント力の向上も必要です。

さらには、看護だけでなく生活支援や社会資源の提案・調整まで踏み込んだ質の高い支援を目指していきたいです。

好きなことが、明日への活力に

忙しい日々の中でも、自分らしい時間を確保することを大切にしています。趣味はディズニ、個人株主優待の取得、ドラマ鑑賞です。ディズニの映画やパークに触れることで非日常の世界に癒され自分をリセットすることが出来ます。

また、株式投資を通じて企業の成長を応援しながら自分自身も楽しめる株主優待に魅力を感じています。特に食品や日用品、旅行関連の優待を中心に実生活に役立つ銘柄を選んで投資しています。優待の到着を楽しみにするのが毎月の小さな幸せであり、今後も投資の知識を深めつつ楽しく続けていければと思っています。仕事と日常生活のバランスを大切に、好きなものに囲まれた生活を楽しみながら無理せず自分のペースで自分らしく過ごすことを心掛けています。

本インタビューは

下記から動画にて閲覧可能です。



みんなで創ろう！みんなの未来会

4月13日(日)、水戸市民会館(水戸市泉町)にて、2回目となる「みんなで創ろう！みんなの未来会(通称…みんな未来会)」を開催しました。

「みんな未来会」は、2019年より開催している職員総会の後継として位置付けられ、栗田病院グループの職員が一堂に会するグループ最大のイベントです。今回は225名の職員が参加しました。

13 閉会挨拶	安部院長
12 集合写真撮影	
11 グループディスカッション	荻原GM
10 KURITAREBORN(病院建て替えPJ)	河井GM
9 部門方針発表(第Ⅲ期・2025年度経営計画)	GM
8 病院方針発表(第Ⅲ期・2025年度経営計画)	安部院長
7 経営方針発表(2050 vision)	栗田理事長
6 職員交流	菅合GM
5 表彰(HOTカード・医療安全・QC・理念賞)	高橋GM、各委員会
4 2024年度このクリニック水戸実績報告	高橋院長
3 2024年度栗田病院実績報告	安部院長
2 新体制発表&GM挨拶	GM
1 開会挨拶	栗田理事長
プログラム	プレゼンター

昨年に続き、リアルでの開催となった「みんな未来会」。冒頭では、GMより新体制の発表とそれぞれより挨拶を行いました。

「経営方針発表(理事長プレゼン)」、「病院方針発表(院長プレゼン)」、「部門方針発表(GMプレゼン)」を通して興味をもったことや感じたことを、「職員交流」や「グループディスカッション」にてスタッフそれぞれが共有し、職員参加型を意識した有意義な会となりました。

表彰

栗田病院グループでは年間を通して、組織成長に貢献した部署および職員を表彰しています。本会で発表された受賞者を紹介します。



褒賞名	受賞者	表彰内容
理念賞(チーム)	納涼祭実行委員	理念実践、認知活動への貢献
	植田聖子(コスモス)	レクリエーション企画、患者様対応
	山本奈津子(マロン)	患者様、ご家族様ケア
	鹿間三枝子(外来)	チーム連携に貢献
理念賞(個人)	市村有紀(訪問あり)	コミュニケーション、患者満足度貢献
	齋藤佑美(クリニック臨床心理課)	コミュニケーション、職員サポート
	眞田正樹(小規模多機能クリニック)	外部との関係構築、利用者満足度貢献
第1位 お宝いっぱい賞	安藤千津子(ヒマワリ病棟)	お宝報告書65枚提出
第2位 お宝いっぱい賞	安田順子(サクラ病棟)	お宝報告書33枚提出
第3位 お宝いっぱい賞	大津紀子(地域医療連携課)	お宝報告書24枚提出
安全活動推進賞	根本ひろみ(外来リハビリテーション)	外出時の昼食後薬持参忘れについての報告
最優秀賞	山縣帆乃花(栄養課)	脳活性化ダイエー調理プログラムにおける食品ロスの改善
優秀賞		

今年も日曜の開催にも関わらずたくさんの職員に参加いただきました。昨年と会場を変更し、今回は水戸市民会館を利用していただきました。

みんな未来会は栗田病院グループの職員が一堂に会する大きなイベントで、グループの進む方向性や今後の方針など、理事長や院長からの発表を通して、職員一人ひとりが自分事に捉え、考え、ディスカッションを行う機会となります。また来年も皆さんと一緒にみんな未来会が開催できる事を楽しみにしております。



安全活動推進賞	芦間真澄(作業療法課)	行動範囲の確認失念についての報告
優秀賞		
QCサークル	山上裕子(栄養課)	災害時給食に関する対応方法の見直しと改善
大賞 優勝	友常佑一(マロン病棟)	ワイドボード使用量削減、適切なボード使用を旨として
QCサークル	大賞 準優勝	
HOTカード大賞	小澤恵美子(認知症GHクリニック田彦)	年間送信1817枚
送信 第1位	小林美代子(サクラ病棟)	年間送信1545枚
HOTカード大賞	金子つや子(サクラ病棟)	年間送信763枚
送信 第2位	小林美代子(サクラ病棟)	年間受信718枚
HOTカード大賞	金子つや子(サクラ病棟)	年間受信622枚
受信 第1位	小沼弘美(認知症GHクリニック田彦)	年間受信617枚
HOTカード大賞		
受信 第2位		
HOTカード大賞		
受信 第3位		



診療案内

外来担当医一覧表

	月	火	水	木	金	土
午 前	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	正司
	安部	高橋	堤	木滝	堀	第2週 鈴木 (変則あり) 第3週 吉川
	堤	早坂	木滝	疋田	翠川	田村
	須能	北嶋	伊藤	伊藤	山口	月田
		正司		黒田	佐々塚	宮木
午 後	栗田	田村	安部	栗田	鈴木	
	安部	高橋	木滝	木滝		
	月田	早坂	須能		北嶋	
	山口	黒田				
	隔週 藤沼					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■＝内科

〈午前の部〉

〈午後の部〉

*精神科外来は完全予約制になります。

受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00

*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

診察時間 9:00～ / 13:30～

予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

サテライトクリニック

「こころのクリニック水戸」 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15 TEL.029-231-0150 FAX.029-231-0152

障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター

「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

地域生活支援事業部

認知症疾患事業部

アクセスマップ

